

業務  
案内



一般財団法人  
沖縄県環境科学センター

---

INCORPORATED FOUNDATION OKINAWA PREFECTURE  
ENVIRONMENT SCIENCE CENTER

---

# 自然豊かに安全で健康的な環境を目指して

Aiming for a Safe and Healthy Environment Rich in Nature



代表理事  
宮城 邦治

## 安心・安全な生活環境の実現と 自然環境の保全・再生を目指して

当法人は1981(昭和56)年12月1日に大里村(現在の南城市大里)で、故池原貞雄琉球大学名誉教授を初代会長として設立された「財団法人沖縄県環境科学検査センター」を前身としており、1990(平成2)年9月には「財団法人沖縄県環境科学センター」に改称して浦添市経塚に移設されました。その後、2011(平成23)年には公益法人制度改革関連3法の施行を機に、「一般財団法人沖縄県環境科学センター」として40年余に渡り、沖縄県民の安心・安全な生活環境の実現と豊かな自然環境の保全・創生を目指して、様々な取り組みを実施してきました。

島嶼県である沖縄は独特な文化と歴史、豊かな自然を有することから観光立県を目標に掲げており、2024年度には900万余の観光客が県内を訪れています。それらの観光客や県民にとって「食」と「水」の安全は最も重要な生活要素です。当法人では「毎日安心して食することができる」ように、食品衛生法に基づく食品等の検査や食品関連業者の品質管理支援、衛生管理に関するコンサルタント業務等を行っています。また、「安心・安全な水環境づくり」を

サポートするために、水道法に基づく様々な検査業務を行っています。昨今、人体への影響などが懸念されている有機フッ素化合物(PFOS、PFOA等)についても、精密な分析を行える体制となっています。100万余の県民と900万余の観光客に、「食」と「水」の安心・安全を提供する業務は、当法人の専門的な技術と知識を有する研究職員が実施しており、大きな社会的貢献となっています。

生物地理学的に琉球列島と呼ばれる鹿児島から沖縄県の与那国島までの島々は、その特異な生物相と生態系が、多くの研究者に注目されています。中でも、奄美大島、徳之島、沖縄島北部と西表島にはアマミノクロウサギ、ルリカケス、トゲネズミ、ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、イリオモテヤマネコなど多くの固有種が生息していることから、2021年7月にはユネスコの世界自然遺産に登録されました。しかし、これらの地域では豊かな自然が未来永劫に保全されていくためには、人々の生活環境の保全と自然との共生という大きな課題があります。当法人ではこれらの課題解決のために陸域や海域の動植物、サンゴ類などの環境調査を行っており、これらのデータは環境アセスメントや環境計画の策定に活用されるなどの確かな知識啓発が行われています。豊かな自然環境の保全・創生は当法人の社会的な役割でもあり、自然環境に関する専門的な知識を有する研究職員はその目標達成のために、日々基礎的な調査研究に勤めています。

当法人は「地域社会の健全な発展に寄与する」ことを目的として、「地域社会に貢献する」ことを第一義的な活動方針としています。そのために、博士や技術士など専門的な知識や技術を有する人材が多く、社会の要請に応えられるよう多種多様な環境分析と調査研究を実施してきました。当法人では今後とも全職員が連携して、持続可能な社会環境の構築に資するべく邁進して行きます。県民の皆様には当法人へのご理解とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### ◆歴代(会長)代表理事

池原 貞雄(琉球大学名誉教授)、砂川恵勝(琉球大学名誉教授)、翁長助裕(元沖縄県副知事)、  
福村圭介(元沖縄県衛生環境研究所長)、諸喜田茂充(琉球大学名誉教授)、渡嘉敷義浩(琉球大学名誉教授)

## ■沿革

### 昭和56年12月1日

財団法人沖縄県環境科学検査センターとして設立

### 昭和56年12月

計量法第123条に係る計量証明事業を財団法人沖縄県公衆衛生協会より継承  
・騒音レベルに係る計量証明の事業、濃度に係る計量証明の事業

### 昭和57年2月

食品衛生法に係る厚生大臣指定検査機関として認可

### 昭和58年3月

水道法第20条第3項の規定に係る厚生大臣指定検査機関として認可

### 昭和58年11月

水道法第34条の2第2項の規定に係る厚生大臣指定検査機関として認可

### 昭和62年7月

沖縄開発庁沖縄総合事務局より、優良事業所として表彰

### 平成2年9月

「財団法人沖縄県環境科学センター」へ改称し、事業所を「浦添市経塚」へ変更

### 平成5年11月

・計量法第107条の規定に係る計量証明事業所として、沖縄県知事へ登録  
・音圧レベルに係る計量証明の事業  
・濃度(大気中の物質の濃度)に係る事業、水中及び土壌中の物質の濃度に係る事業)に係る計量証明の事業

### 平成5年12月

建築物における衛生的環境の確保に関する法律第12条の2第1項の規定に係る飲料水水質検査業として沖縄県知事へ登録

### 平成8年9月

計量法第107条の規定に係る計量証明事業所として沖縄県知事へ登録  
・振動加速度レベルに係る計量証明の事業

### 平成12年2月

作業環境測定法第33条の規定に係る作業環境測定機関として沖縄労働基準監督署へ登録

### 平成14年7月

建設コンサルタント登録規程第5条の規定に基づき沖縄総合事務局へ登録

### 平成14年10月

ISO9001:2000認証取得

### 平成15年5月

計量法第107条の規定に係る計量証明事業所として沖縄県知事へ登録  
・特定濃度(大気中及び水又は土壌中のダイオキシン類の濃度)に係る事業

### 平成15年8月

土壌汚染対策法第3条第1項の規定に係る指定検査機関として環境大臣より指定

### 平成15年11月

温泉法第15条第3項の規定に係る温泉成分分析機関として沖縄県へ登録

### 平成16年3月

水道法第20条第3項の規定に係る登録水質検査機関として厚生労働大臣の登録

### 平成16年3月

水道法第34条の2第2項の規定に係る登録簡易専用水道検査機関として厚生労働大臣の登録

### 平成16年7月

食品衛生法第26条第1項、第2項及び第3項の規定に係る登録検査機関として厚生労働大臣の登録

### 平成17年9月

臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律第20条の3の規程に係る衛生検査所として登録

### 平成18年1月

ISO14001:2004認証登録

### 平成20年7月

内閣府沖縄総合事務局より「中城湾港海藻類(クビレミドリ)生体調査業務」が優良業務として表彰される

### 平成23年4月

一般財団法人へ移行(一般財団法人沖縄県環境科学センター設立登記)

### 平成24年4月

公益社団法人日本水道協会より「水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)」の認定

### 平成24年8月

ISO9001・ISO14001の認証登録2015年版へ移行

### 令和元年5月

「芳香族塩素化合物分解剤およびこれを用いた芳香族塩素化合物の分解方法」特許取得(特許第6524213号※弊社職員が共同発明者)

### 令和元年10月

建設コンサルタントの登録の追加(追加登録部門水産土木部門)

### 令和2年1月

水産HACCP継続審査機関として、(一社)日本食品認定機構から認定

### 令和2年3月

沖縄県SDGs普及パートナー登録制度による「おきなわSDGsパートナー」として認定

### 令和5年6月

ISO/IEC17025:2017認定取得(試験分野微生物的試験)

### 令和6年2月

沖縄県SDGs認証制度による「おきなわSDGsプラチナパートナー」として認定

### 令和6年5月

科学研究費補助金取扱規程第2条第1項第4号に規定する研究機関の指定(文部科学省)

### 令和7年5月

八重山営業所開所

## ■業務実績

### 食品検査

- ・衛生検査：市町村等学校給食調理場、保育所、ホテル等施設
- ・検便検査：学校給食関係、食品関連事業者等
- ・輸入食品検査：命令検査及び自主検査
- ・各種食品検査：栄養成分検査、収去食品等検査、異物同定検査、保存試験、カビ/ダニ検査
- ・新型コロナPCR検査、新型コロナウイルス感染症対策事業（こども・子育て支援分）業務
- ・コンサル：HACCP取得支援、HACCP責任者養成研修アドバイザー、食品衛生コンサル、健康食品GMP取得支援

### 水道検査

- ・水道法第20条第3項に係る水質検査
- ・水道法第34条の2第2項に係る簡易専用水道検査

### 環境コンサルタント

- ・石西礁湖サンゴ群集修復試験実施業務
- ・サンゴ礁保全再生総合対策事業（保全再生事業、オニヒトデ対策）
- ・八重干瀬及び周辺地域自然環境現況調査
- ・西表石垣国立公園許可申請に係る環境調査等委託業務
- ・於茂登岳自営電線路更新工事に係る環境影響調査
- ・伊平屋村田名池の自然再生事業に係る自然環境調査業務
- ・保良クバクンダイ鍾乳洞調査業務
- ・北部ダム河川水辺の国勢調査及び環境保全調査業務
- ・宮古島市地下水モニタリング調査業務委託
- ・国頭村赤土等対策関連調査委託業務
- ・西普天間住宅地区土地区画整理事業に係る環境影響評価事後調査業務委託
- ・沖縄島北部テーマパーク事業に係る環境影響評価業務
- ・ジュゴンと地域社会との共生推進委託業務
- ・ノグチゲラ生息状況調査等業務
- ・外来種対策事業
- ・マングース対策事業
- ・指定管理鳥獣捕獲等事業  
（慶良間諸島における外来イノシシ対策）
- ・生物多様性地域戦略事業
- ・第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画等策定委託業務
- ・沖縄県CO2 吸収量認証制度業務
- ・プラスチック問題対策普及啓発事業委託業務
- ・J-クレジット制度推進のための地域支援事業
- ・新たな沖縄観光サービス創出支援事業
- ・持続可能な森林造成支援システムの構築委託事業
- ・沖縄さのこ生産体制構築事業委託業務
- ・石垣島北部地域インタープリテーション計画検討調査業務

### 環境調査・分析

- ・公共用水域の水質・底質及び地下水質測定業務委託
- ・汚水処理場水質分析業務
- ・大気汚染物質排出量等測定業務委託
- ・大気汚染測定機器保守点検業務委託
- ・那覇市、南風原町クリーンセンターごみ質分析、大気汚染物質等測定業務委託
- ・名護市焼却灰ばいじん処理環境調査業務
- ・有機フッ素化合物残留実態調査業務
- ・病理室内作業環境測定委託
- ・動物愛護管理センター譲渡推進棟土壌汚染調査委託業務
- ・破砕機設置に伴う生活環境影響評価
- ・成長分野リーディングプロジェクト創出事業研究委託業務
- ・メタン発酵テストプラントにおける発酵液等の成分分析委託業務
- ・沖縄型畜産排水対策課題解決モデル事業
- ・地域景観配慮型畜産臭気対策モデル事業
- ・未利用資源活用畜産オガコ生産モデル事業
- ・沖縄型畜産排水対策モデル事業
- ・南城市循環型農業調査委託業務
- ・八重瀬町メタン発酵消化液等の肥料利用の促進事業

## ■業務表彰

- ・沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所長表彰（優良業務表彰）  
業務名：令和2年度中城湾港環境監視調査業務（その2）
- ・沖縄総合事務局石垣港湾事務所長表彰（若手技術者表彰）  
業務名：令和5年度石垣港水質調査業務
- ・沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所長表彰（優良業務表彰・優良技術者表彰）  
業務名：令和5・6年度北部5ダム・大保ダム水質調査業務

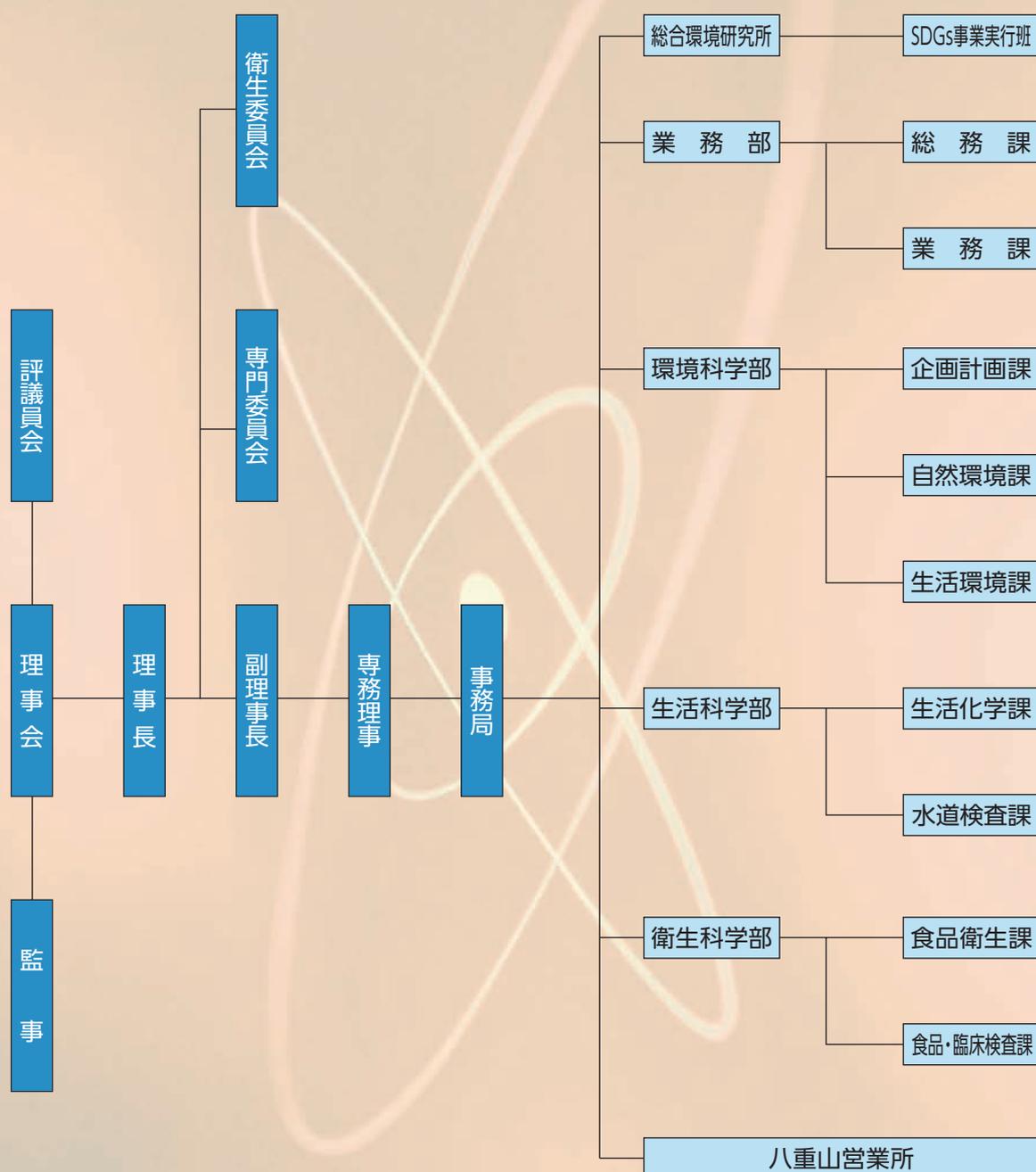
### 【設立目的】

健康の保持増進に必要な食品・飲料水等並びに生活環境の保全及び管理に関し必要な検査、調査研究、啓発等を行い、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

### 【活動方針】

- I 当法人は検査・調査業務を通して、地域社会に貢献する。
- II 日々、技術の革新・継続的改善に努め、法人の発展に努力する。
- III 家族と全職員の物心両面の幸福を追求する。

## 一般財団法人 沖縄県環境科学センター 組織



## 1. 役員名簿

役職名	氏名	関係役職	役職名	氏名	関係役職
代表理事 理事長	宮城 邦治	沖縄国際大学名誉教授	理事	迫田 拓	当法人環境科学部長
代表理事 副理事長	中島 昇	前当法人事務局長	理事	当山 昌直	沖縄大学地域研究所特別研究員
業務執行理事 専務理事	風岡 雅輝	当法人総合調整役	理事	棚原 朗	琉球大学名誉教授
理事	糸村 昌佑	琉球大学名誉教授	理事	奈宮 正和	当法人事務局長兼業務部長
理事	小澤 宏之	当法人総合環境研究所所長	理事	米田 善治	(株)沖縄水道管理センター代表取締役
理事	川満 正人	元株式会社ジーシー代表取締役社長	監事	山城 斉一	(株)沖縄銀行常務取締役
理事	金城 賢	(一社)沖縄県産業資源循環協会参与			

役職名	氏名	関係役職	役職名	氏名	関係役職
評議員	伊是名 力工	元(公社)沖縄県栄養士会副会長	評議員	金城 和俊	琉球大学准教授
評議員	島崎 潤一	元沖縄県八重山支庁農林水産調整監	評議員	玉城 政信	沖縄畜産研究会会長
評議員	中村 正秀	元沖縄県企業局参事兼石川浄水場所長			

## 2. 資格保持者 (2025年11月現在)

資格名称	人数	資格名称	人数	資格名称	人数
博士	5	作業環境測定士(第1種、第2種)	8	一般建築物石綿含有建材調査者	8
技術士(総合技術監理部門)	4	土壤汚染調査技術管理者	3	特定建築物石綿含有建材調査者	1
技術士(建設部門)	7	潜水士	17	石綿作業主任者	6
技術士(森林部門)	1	測量士	2	石綿分析技術評価事業認定	5
技術士(水産部門)	1	放射線取扱主任者(第1種、第2種)	2	水道技術管理者	2
技術士(環境部門)	10	エックス線作業主任者	1	認定水道水質検査員	3
CALS_EC インストラクター	1	ガンマ線透過写真撮影作業主任者	1	簡易専用水道検査管理技術者	1
学芸員資格	2	環境計量士(濃度関係)	14	認定簡易専用水道検査員	3
基本情報処理技術者	1	環境計量士(騒音・振動関係)	3	特定毒物研究者	1
救命講習修了(上級、普通)	9	有機溶剤作業主任者	2	カビダニ測定士	1
工事作業警戒船業務講習修了	1	特定化学物質等作業主任者	3	臨床検査技師	4
磁気探査技能士	2	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	2	管理栄養士	3
環境アセスメント士(自然環境部門)	1	危険物取扱者(甲種、乙種)	6	食品微生物検査技師(2級)	1
港湾海洋調査士(総合、環境調査)	4	特別管理産業廃棄物管理責任者	2	ISO22000 審査員補	2
港湾潜水技士(1級、2級)	2	環境大気常時監視・初級技術者	1	HACCP 専門講師	1
RCCM(建設環境)	1	臭気判定士	1	水産 HACCP 継続審査員	1
生物分類技能検定1級 底生生物分野	1	毒物劇物取扱責任者	1	JRCA 登録 QMS 審査員	1
生物分類技能検定2級 水圏生物部門	1	アスベスト検査官	1	食品表示診断士(上級)	3
生物分類技能検定2級 植物部門	1	アスベスト分析調査者	3	食品表示診断士(中級)	7
生物分類技能検定2級 動物部門	1	公害防止管理者(水質関係第1種)	7	QC 検定2級	1
ピオトップ計画管理士(1級、2級)	1	公害防止管理者(大気関係第1種)	1	無人航空機操縦・無人航空機安全運航管理者	1
ピオトップ施工管理士(1級、2級)	3	公害防止管理者(ダイオキシン類関係)	1	無人航空機操縦士(二等)	1
環境カウンセラー(市民部門)	1	公害防止管理者(騒音・振動関係)	1	日商簿記(2級、3級)	3
環境カウンセラー(事業者部門)	1	SSHO(米軍)	1	NIOSH582	1
小型船舶操縦士(1級、2級)	14	土木施工管理技師(1級)	1	工作物石綿事前調査者	1
狩猟免状	3	鉛含有ペンキ検査官	1		

# 調査研究 品質管理

## Research and Quality Control

# 科学的知識・情報の探求・

## To Search, Accumulate and Cultivate

### SDGsに関する取り組み

2020年4月1日に「SDGs事業実行班」を発足させました。  
2023年に「おきなわSDGsプラチナパートナー」に認証されています。

### ●SDGs事業実行班

SDGs事業実行班は、SDGsの達成および沖縄の持続可能な発展に寄与することを目的として、環境・福祉・観光などに関わる社会環境課題を踏まえた分野横断的なプロジェクト「～沖環科SDGsプロジェクト～」を考え、実行するグループです。

### ■活動指針

1. 自身の活動の基盤を大切にします
  - ・ 班の活動を持続的なものとするため、活動の基盤となる自身の健康やそれぞれの思い描く仕事のやりがい等を大切にします。
2. SDGsの理解に努めます
  - ・ 国連、外務省が提示したSDGsに関するこの理解に努めます。
  - ・ SDGsの解釈や行動の考え方は、その人の置かれた境遇等の違いによって異なるものと考えます。班の活動に当たっては、人それぞれこのような違いがあることを前提として考え、押し付けとならないように配慮します。
  - ・ できるだけ、業務上のSDGsに関する活動と普段の活動に矛盾が無いように心がけます。
  - ・ SDGsだけではなく、持続可能な社会の構築は、普遍的で継続的に取り組むことが必要な課題です。2030年の目標年を踏まえつつも、2030年以降も発展的に活動します。
3. 根拠を示します
  - ・ 活動の信用性を保つために、班の対外的活動で数字や考え方を示す際には、根拠となるデータ等の出典を明示します。



#### 【ロゴのコンセプト】

- ・ 沖縄県環境科学センターを象形に取り入れている (O: 沖縄県・K: 環境科学センター)
- ・ SDGsに関する活動を率先して行う一番星 (リーディングカンパニー) になる  
\* 星型は、色々なことに興味を持ち多方向にアンテナを張っている様子も示しています
- ・ 「沖環科SDGsプロジェクト」が沖縄のSDGs活動の代名詞になる

#### 【主な業務内容】

- ・ 多業種、異職種とのパートナーシップによるSDGs関連事業の創出・運営
- ・ SDGs事業を企画立案、創出・運営する人材の育成事業
- ・ SDGsの達成に寄与するSDGsグッズの開発・販売
- ・ 沖環科SDGsレポートの発刊

# 集積と普及のために・・・

## Scientific Knowledge and Intelligence.

### 調査研究

設立目的に基づき数々の調査研究事業、知識啓発事業を行ってきました。

#### ■主な調査研究事業

- ・県内保育所施設における衛生管理状況に関する研究
- ・超臨界抽出装置及びGC/MSを用いた食品中残留農薬の多成分一斉分析法に関する研究
- ・エアレーションによるカビ臭及びトリハロメタン除去対策の有効性に関する研究
- ・県内人工環境水中におけるレジオネラ属菌の検出状況に関する研究
- ・上水利用貯水池におけるカビ臭原因生物の研究と対策技術開発に関する研究
- ・下水処理における活性汚泥中原生動物の浄化状態の指標化に関する研究
- ・石綿含有建材製品撤去作業による空气中繊維物数濃度と飛散防止効果に関する研究
- ・ジュゴンの生態解明に関する調査研究
- ・環境DNAに係る調査研究
- ・エントツガイの生態調査

#### ■主な知識啓発事業実績

- ・微生物セミナー
- ・水道水質担当者研修会・技術研究会
- ・アスベスト研修会
- ・ダム貯水池の水質勉強会
- ・下水処理場活性汚泥研究報告会
- ・沖縄産業保健総合支援センター労働衛生工学専門員

#### ■調査研究成果の受賞実績

- ・紫外線による臭素酸生成の実態と低減対策に関する研究
- ・西日本地方の水泳プールにおける消毒副生成成分の実態調査に関する研究
- ・新設貯水槽設置の不適合状況調査及び沖縄県における給水開始前検査の制度についての報告
- ・人工甘味料を利用した水道水源の調査

### 品質管理

一般財団法人 沖縄県環境科学センターでは、食品、飲料水、大気、水、土壌などの様々な媒体について微生物から化学物質にわたる多種多様な項目に関する試験・検査を実施しており、また、その分析精度も微量レベルまで要求される場合があります。

検査結果は消費者が直接口にする食品や飲料水の安全性の確認、あるいは生活環境・自然環境に係る健全度等を評価するための基本情報であることを考えれば正確かつ精度の高いものである必要があり、これが管理・保証されていなければなりません。

#### ●品質管理活動について

- ・試験検査の各プロセスの信頼性保証に対する支援・監査
- ・品質に関する情報の収集・管理
- ・ISOマネジメントシステムなどの品質管理基準の遵守
- ・外部精度管理調査への参加と検査体制へのフィードバック
- ・検査室内や分析機器の管理及び検査結果チェック体制の充実
- ・教育訓練による試験検査及び精度管理に対する知識の蓄積と意識の向上

#### ISO 9001:2015認証 (国際標準化機構 品質マネジメントシステム)

食品、微生物、水質、環境に関する分析・検査・調査業務についてISO9001:2015を取得し、品質保証と顧客サービスの向上を図っています。

#### ISO 14001:2015認証 (国際標準化機構 環境マネジメントシステム)

食品、微生物、水質、環境に関する分析・検査・調査業務の事業活動によって発生する廃棄物の適正管理、資源・エネルギーの消費の削減等について、ISO14001:2015を取得し、環境保全活動に努めています。

#### ISO/IEC 17025:2017認定取得試験所 (認定番号 119833)

試験所・校正機関が正確な測定/校正結果を生み出す能力があるかどうかを、権威ある第三者認定機関が認定する規格。認定を受けた組織は製品管理・品質管理を行ううえでのマネージメント力と、信頼性のある試験/校正結果を生み出す技術力が国際的に認められています。



■微生物セミナー



■水質担当者研修会



■ISO/IEC17025:2017



■ISO 9001



■ISO 14001

# 食品 Food

## 毎日安心して食すること

### In Order to Have Daily Food Free From

- 食品衛生法第26条第1項、第2項、第3項による厚生労働大臣登録検査機関
- 臨床検査技師等に関する法律に基づく衛生検査所(登録番号32号)
- (一社)沖縄県食品衛生協会の指定検査機関
- (一社)日本食品認定機構の水産HACCP継続審査機関
- ISO/IEC 17025:2017 認定取得試験所(認定番号119833)
- まるっと沖縄輸出推進協議会 検査窓口

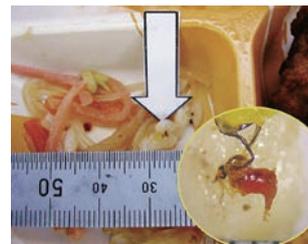
#### ■食品衛生法に基づく食品等の検査

厚生労働大臣登録検査機関として、食品衛生法第26条に基づく行政命令による検査や収去品の検査代行を行っています。



#### ■食品関連業者の品質管理支援

食品製造業者、販売業者の品質管理のための検査や成分表示に関する分析、食品表示法に基づく食品表示作成業務支援を行っています。また、異物混入時の原因究明から改善策の提案等も行っています。



#### ■衛生管理に関するコンサルタント業務

食品製造施設の学校給食施設やホテル厨房の衛生調査や拭き取り検査を始め、衛生管理に関するコンサルタント業務を行っています。

HACCP、ISO22000、FSSC22000等、食品安全マネジメントシステム認証取得へ向けた支援も行っています。



#### ■臨床検査技師等に関する法律に基づく臨床検査

臨床検査技師等に関する法律に基づく衛生検査所(登録番号第32号、平成21年7月6日)として、食品製造・加工業等における食品従事者や水道事業関係者等を対象に検便検査(赤痢、腸管出血性大腸菌O157、サルモネラ属菌、ノロウイルス)を行っています。当法人は沖縄県内の民間検査機関としては初めてPCR装置を導入し、長年に渡り高感度・高精度な遺伝子検査をご提供して参りました。その技術を活かして、新型コロナウイルス感染症のPCR検査もご提供しております。



# ができるように…

## Anxiety.



■微生物検査



■市販弁当の検査



■食品分析室

### ■食品検査

#### 理化学検査

- ・ 輸入食品等の検査
- ・ 栄養成分分析、ミネラル、ビタミン分析
- ・ 乳製品及び清涼飲料水等の成分規格試験
- ・ 器具及び容器包装の規格試験
- ・ 食品添加物等の検査
- ・ 残留抗菌性物質、残留農薬分析
- ・ 微量有害成分(PCB等)の分析
- ・ 異物検査(食品等に混入、発生した異物検査)



■食品中のアレレルゲン検査



■超高速液体クロマトグラフ

#### 微生物検査

- ・ 品質管理のための細菌検査(一般細菌数、大腸菌群等の検査)
- ・ サルモネラ、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ等の食中毒原因菌の検査
- ・ 期限表示のための保存試験
- ・ 調理場等施設の衛生検査
- ・ 検便検査(腸内細菌検査)  
赤痢、腸管出血性大腸菌O157、サルモネラ属菌
- ・ PCR検査(ノロウイルス、カンピロバクター、ビブリオ、新型コロナウイルス感染症)
- ・ アレルゲン検査
- ・ カビの同定検査



■PCR検査前処理機



■原子吸光光度計(金属分析)

### ■分析機器

- ・ 超高速液体クロマトグラフ
- ・ 高速液体クロマトグラフ、ガスクロマトグラフ(食品添加物、ビタミン等分析)
- ・ 原子吸光光度計(カドミウム、鉛等の有害金属、ナトリウム、カルシウム等のミネラル分析)
- ・ 赤外分光光度計  
(容器包装等の樹脂鑑別及び混入異物同定)
- ・ ガスクロマトグラフ質量分析計(残留農薬等分析)
- ・ 高速液体クロマトグラフ質量分析計
- ・ スパイラルプレート及びコロニーカウンター(食品中の細菌数の計測)
- ・ ライトサイクラーナノPCR(腸管出血性大腸菌O157等病原微生物等の遺伝子検査)
- ・ 病原菌自動検出システム(サルモネラ、O157等)
- ・ 遺伝子精製装置
- ・ キャピラリー電気泳動シーケンサー



■遺伝子精製装置



■衛生検査



■キャピラリー電気泳動シーケンサー



■衛生管理講習会

# 飲料水

## Drinking Water

# 水道水その他の水質

## Water Quality Analysis of Drinking Water

### 安心して、安全な水をお届けするために。

水は私たちの生活を支えるため、身の回りで活用されています。  
当センターでは水に関する検査業務を通して、安心・安全な水環境づくりをサポートします。

水道法等に基づいて、次のような検査業務を行っています。

- 水道法第20条第3項に基づく水道水の検査(上水道・簡易水道・専用水道)
- 水道法第34条の2第2項に基づく定期検査
- 沖縄県簡易専用水道取扱要領による給水開始前検査
- 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく施設の提出書類検査
- 飲用井戸等衛生対策要領による検査
- ISO/IEC17025:2017認定取得試験所(認定番号119833)

### 緊急時には水質基準項目を24時間で速報。 緊急を要するご依頼にも即対応いたします。

当センターでは水道法上必要とされる、定期および臨時の水質検査(水道法第20条第1項)、給水開始前の水質検査(水道法第13条第1項)、請求された場合の水質検査(水道法第18条第1項)等について、水道法第20条第3項に基づき検査を行っています。

### ■検査内容

水道事業体の定期検査

(水道法第20条第3項による水質検査)

- 水質基準項目
- 水質管理目標設定項目
- クリプトスポリジウム、ジアルジア
- 農薬類

その他の検査

- 建築物衛生法検査
- 沖縄県簡易専用水道取扱要領による給水開始前検査
- プールの水質検査
- 浴槽水、浴槽原水、原湯、上がり湯
- 飲用井戸水

### 「有機フッ素化合物分析(PFOS、PFOA、PFHxS等)」

- 飲料水、水道原水(地下水、井戸水、河川水等)のPFOS(パーフルオロオクタンスルホン酸)、PFOA(パーフルオロオクタン酸)に加え、PFHxS(パーフルオロヘキサンスルホン酸)の分析

### ■検査機器

- ・ICP質量分析装置
- ・イオンクロマトグラフ-ポストカラム分析装置
- ・パージ&トラップ-ガスクロマトグラフ質量分析装置
- ・還元気化自動水銀測定装置
- ・陰イオンクロマトグラフ分析装置
- ・陽イオンクロマトグラフ分析装置
- ・高速液体クロマトグラフ分析装置
- ・高速液体クロマトグラフ質量分析装置
- ・ガスクロマトグラフ質量分析装置
- ・全自動分析装置
- ・TOC分析装置



■高速液体クロマトグラフ質量分析装置

## and Water from Other Sources.

### 簡易専用水道

#### 毎日使う水だから・・・水タンクの衛生管理

##### ■簡易専用水道の管理検査

簡易専用水道の管理検査は、各保健所に協力して、厚生省通知昭和53年6月23日環水第68号、一部改正平成3年11月1日衛水第251号「簡易専用水道の規制について」に基づき、県制定の「沖縄県簡易専用水道取扱要領」（昭和60年6月27日制定）により貯水槽の外観検査、水質検査、書類検査の3項目について実施しています。

##### ■簡易専用水道は1年に1回定期検査を

簡易専用水道とは、次のものをいいます。

- ・水道事業者からうける水道水のみを水源とする。
- ・受水槽の有効容量が10m<sup>3</sup>を超えるもの。
- ・簡易専用水道の設置者は、居住者、利用者の安全確保のため年1回以上の定期検査が義務付けられています。

##### ■小規模貯水槽について

小規模貯水槽とは、受水槽の有効容量が10m<sup>3</sup>以下のものをいいます。

- ・簡易専用水道の管理基準に準じて管理する事が望まれます。
- ・沖縄県では、公共性・利用頻度の高い施設についても簡易専用水道と同等の管理を行うよう指導しています。



■水タンクの設置状況



■水タンクの検査状況

### 知識啓発

- 水質担当者研修会  
各水道事業者やその他水質担当者を対象に、水質管理に関する情報の提供や研修会を行っています。
- 水道週間  
水道週間において、各関係機関へ展示パネルや配布資料の提供を行っています。



■ICP質量分析装置



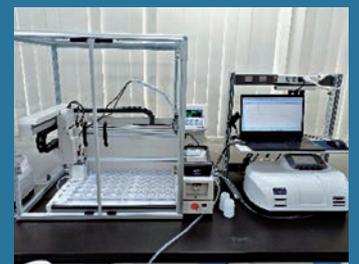
■P&T-GC-MS分析装置



■陰イオンクロマトグラフ分析装置



■ガスクロマトグラフ質量分析装置



■全自動分析装置

# 環境 コンサル tant

Consulting on  
Environment  
of Life and Nature

## 環境の保全と自然と

To Conserve Our Living Environment, and

### 自然環境調査

■サンゴ礁生態系を劣化させる各要因に関する研究、保全対策業務の実績を豊富に有しています。長年にわたり沖縄のサンゴ礁生態系の現状把握と劣化要因のモニタリングに携わっています。

- ◆ サンゴ類の現況把握調査、モニタリング
- ◆ サンゴ礁の生物多様性調査、評価
- ◆ サンゴ群集の再生
- ◆ サンゴ群集劣化要因への対策

■森林、河川、ダム湖などさまざまな環境の調査、保全対策に取り組んでいます。調査・保全の対象は、植物、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、陸産貝類など多岐にわたります。

- ◆ 植生、生物相（動物相・植物相）の調査
- ◆ 地下水等の水環境の調査
- ◆ 自然環境の保全対策立案・実施
- ◆ 河川・湿地の自然再生事業



経験豊富な潜水士によるサンゴ礁の調査



各分野の専門調査員による自然環境調査

### 絶滅危惧種の調査・保護対策

■沖縄は世界的に見ても生物多様性のとても高い地域です。しかし、開発や外来種の影響で絶滅の危機にある野生生物も少なくありません。海域・陸域のさまざまな絶滅危惧種の調査や保護に取り組んでいます。

- ◆ 生息状況調査
- ◆ 保護対策の立案・実施
- ◆ 生態研究・個体数推定
- ◆ 地域の関係者と連携した保護対策の推進



沖縄県の県鳥ノグチゲラ。  
生態調査やモニタリングを行っています。



絶滅が危惧される琉球列島のジュゴン。  
沖縄各地で分布調査を行っています。

### 環境アセスメント・環境保全計画

■開発事業（道路、港湾施設、農地、テーマパーク等）に伴う環境への影響を最小限にするため、調査、予測、評価等を行う環境アセスメントに携わっています。

- ◆ 現況調査
- ◆ 事業による影響予測と評価
- ◆ 環境保全措置の検討・実施
- ◆ 事後モニタリング

■気候変動対策、自然環境保全、プラスチック問題など、さまざまな環境課題について対策を検討し、自治体の計画策定を支援しています。

- ◆ 環境計画の策定支援（地球温暖化対策・気候変動適応策・プラスチック対策など）
- ◆ J-クレジット制度やカーボン・オフセットの推進



沖縄の美しい風景を守るための景観調査



樹木の炭素固定量の調査

# の共生を目指して

to Live in Harmony with Nature.

## 外来種対策

■ 侵略的な外来種の侵入・定着は地域の生物多様性にとって脅威となっています。沖縄の生物多様性を保全するため、哺乳類、爬虫類、昆虫類、魚類、植物など、多くの外来種の対策に携わっています。

- ◆ 外来種対策に関する計画策定
- ◆ 未定着外来種の侵入監視
- ◆ モニタリング調査
- ◆ 防除技術の開発
- ◆ 捕獲等による防除（外来ヘビ、外来イノシシ、マングース、オオクチバス等）



毒を持つ外来昆虫のヒアリ。  
港湾において侵入監視を続けています。



ヤンバルクイナ等を捕食するマングース。  
やんばる地域で防除事業を実施しています。



■ ジュゴンの食み跡



■ ドローンによるジュゴン調査

## 持続可能な観光・農林水産業の支援

■ 観光立県の沖縄では、環境に配慮した持続可能な観光（サステナブルツーリズム）が求められています。環境分野で培った技術を活かし、持続可能な観光の推進を支援しています。また、調査や分析技術を応用することで農林水産業の振興にも貢献しています。

- ◆ マリンレジャーの利用実態調査
- ◆ 地域資源を活用したプログラム開発
- ◆ インタープリテーション計画の策定
- ◆ 山菜やきのこ類の栽培試験、生産強化
- ◆ 造林に関する調査・検討
- ◆ 緑化木の保全対策



サンゴ礁保全を学び実践するダイバーの  
育成プログラムを開発しました。



しいたけ栽培に関する試験。  
環境分析技術を農家の支援に活かしています。



■ オオクチバス(外来種)

## 普及啓発・環境教育

■ 環境保全の取り組みを推進するためには、県民の理解と協力、活動への参画が不可欠です。また、将来を担う子どもたちへの環境教育も重要です。沖縄の自然の豊かさ、保全の大切さを伝えるため、ターゲットや内容に応じてイベントや出前授業の開催、ホームページ作成などさまざまな方法で普及啓発を行っています。

- ◆ イベント開催（シンポジウム、ワークショップなど）
- ◆ 自然観察会
- ◆ 市民参加型調査
- ◆ 小学校での出前授業
- ◆ 教材作成
- ◆ 普及ツール作成（パンフレット、シール、バッジ等）
- ◆ ホームページ・動画作成



■ 希少種や外来種の環境DNA分析



子どもたちが楽しみながら環境保全に  
興味を持つプログラムを提供します。



小学校での出前授業。  
各テーマの専門家を講師として派遣します。



■ サンゴ群集の再生

# 環境分析

## Measurement & Chemical Analysis

# 環境の科学的な証明を

## Scientific Analysis and Testing of Life 生活環境の保全と管理に関する調査・測定

### ■ 生活環境に関する調査・測定

計量法第107条の規定による濃度（大気、水質及び土壌）及び音圧レベル・振動加速度レベルの環境計量証明事業を実施しています。

さらに、作業環境測定の登録機関として作業場の粉じん、有機溶剤、特定化学物質及び金属等の測定分析を行っています。



■ 大気調査状況



■ 水質調査状況



■ 音圧レベル・振動加速度レベル調査状況



■ 作業環境測定状況

### ■ 持続的な畜産業の実現に向けて

沖縄県の農業生産額において、畜産業は40%以上を占める基幹産業です。この重要な産業を次世代へつなぐため、私たちは持続可能な畜産業の実現を支援しています。

- 排水処理状況の改善
- 臭気の低減対策
- 堆肥化による資源循環・耕畜連携の推進
- 自給飼料生産支援



■ 養豚場での臭気調査



■ 家畜糞尿を活用した自給飼料  
(飼料用トウモロコシの栽培)

# Environment.

## ・分析

### ■環境分析

- 水質(生活環境項目、有害健康項目等)
- 大気(大気汚染防止法に基づく大気汚染物質)
- 土壌
- ばい煙測定(ばいじん量、NOx、SOx、HCl、Hg等)
- 騒音・振動測定

### ■農薬・PCB分析

- 環境(環境水、土壌)中の農薬分析
- 河川水、ゴルフ場等の農薬分析
- 環境(環境水、底質等)のPCB分析
- トランスオイル(絶縁油)のPCB分析

### ■アスベスト(石綿)分析

- 建材製品中のアスベスト分析
- 空気環境中のアスベスト分析  
(一般大気、生活環境、解体工事現場等)



■卓上走査電子顕微鏡

### ■ダイオキシン類測定

- 水質、底質、土壌、大気などのダイオキシン類測定
- 焼却施設(排ガス、焼却灰)のダイオキシン類測定

### ■臭気指数・特定悪臭物質分析

### ■廃棄物分析

### ■沖縄県リサイクル資材評価認定制度(ゆいくる)に基づく環境に対する安全性試験

### ■土壌・肥料分析試験

### ■作業環境測定

### ■測定・分析機器等

- 全有機炭素測定装置(TOC)
- BOD自動分析装置
- 粒度分布測定装置(濁水中の粒度分布)
- ガスクロマトグラフ(農薬、PCB及び悪臭物質等の微量分析)
- 高速液体クロマトグラフ(農薬分析)
- 連続流れ分析装置(環境水、排水等)
- X線回折装置(アスベスト等分析)
- 位相差顕微鏡・偏光顕微鏡(アスベスト分析)
- 原子吸光光度計(重金属測定)
- ICP発光分光分析装置(微量重金属測定)
- ICP質量分析装置(微量重金属測定)
- 分光光度計
- イオンクロマトグラフ
- 卓上走査電子顕微鏡



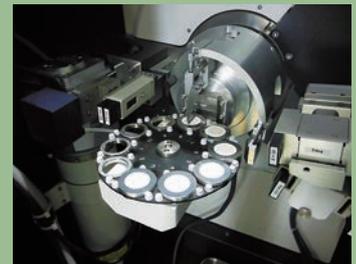
■ポータブルガスクロマトグラフ



■自動BOD測定装置



■小型蒸留装置



■X線回折装置



■ヘッドスペース・ガスクログラフ質量分析装置



■連続流れ分析装置



## ■ 関連団体

### 学会・研究会

- ・ 沖縄生物学会
- ・ 一般財団法人沖縄県公衆衛生学会
- ・ 一般社団法人環境DNA学会
- ・ 一般社団法人日本音響学会
- ・ 一般社団法人日本きのこ学会
- ・ 一般社団法人日本魚類学会
- ・ 一般社団法人日本サンゴ礁学会
- ・ 日本食品微生物学会
- ・ 日本藻類学会
- ・ 「野生生物と社会」学会

### 加入・関連団体

- ・ 一般社団法人大日本水産会
- ・ 一般社団法人沖縄県建設環境コンサルタンツ協会
- ・ 一般社団法人沖縄県貿易協会
- ・ 一般社団法人沖縄県食品衛生協会
- ・ 一般財団法人食品衛生登録検査機関協会
- ・ 一般社団法人日本環境測定分析協会
- ・ 一般社団法人日本下水サーベイランス協会
- ・ 公益社団法人日本作業環境測定協会
- ・ 一般社団法人全国給水衛生検査協会
- ・ 公益社団法人沖縄県緑化推進委員会
- ・ 一般社団法人日本食品認定機構
- ・ 沖縄県計量協会
- ・ 西日本地区食品衛生登録検査機関研究協議会
- ・ まるっと沖縄輸出推進協議会
- ・ 沖縄県技術士会
- ・ リュウキュウアユを蘇生させる会



## 一般財団法人 沖縄県環境科学センター

INCORPORATED FOUNDATION OKINAWA PREFECTURE  
ENVIRONMENT SCIENCE CENTER

〒901-2111 沖縄県浦添市字経塚720番地  
TEL 098-875-1941 / FAX 098-875-1943  
<https://www.okikanka.or.jp>

八重山営業所  
〒907-0023 石垣市字真栄里203番地-7-1 F  
TEL : 080-8574-8767

